

教科		国語 (小・中)	
	指導の重点事項	努力事項	
指導計画の作成	◎ 系統性を踏まえた指導内容の明確化	◎ 小・中学校を通じて、〔知識及び技能〕及び〔思考力、判断力、表現力等〕の指導事項と言語活動例のそれぞれにおいて、学習指導要領の系統表をもとに重点を置くべき指導内容を明確にする。 ○ 各領域の指導時数を適切に配当し、各領域の内容を相互に密接に関連付けて指導する。その際、学校図書館などを計画的に利用し、その機能の活用を図る。	
指導の工夫	◎ 自分の考えを形成する学習過程の重視 ◎ 情報の扱い方に関する指導の改善・充実	◎ 〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域において、学習過程を明確にし、各指導事項を位置付ける。また、全ての領域において、自分の考えを形成する学習過程を重視する。 ○ 〔思考力、判断力、表現力等〕の育成を効果的に図るため、記録、要約、説明、論述、話し合い等の言語活動の充実を図る。 ◎ 情報の収集・整理・発信について、様々な手段で表現することができるように、情報の扱い方に関する指導の改善・充実を図る。 ○ 話や文章の中で使いこなせる語句を増やすなど、語彙の質を高めることができるよう、語彙指導の改善・充実を図る。	
評価の充実	◎ 日々の授業における評価規準の具体化	◎ 評価規準をより具体化し、評価場面を適切に設定することにより、日々の授業における評価を一層推進する。 ○ 言語活動の経過や結果の記録のファイル等を工夫し、評価資料の累積、活用に努める。	

主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業の充実のために

ポイント2 「教材との出会い・学習課題の把握」

子どもの初読の感想をもとに、単元のねらいを明確にした課題を設定する。

前時の読み取りを基にして、新たな問いを引き出し課題を設定する。

↓

課題を解決するには、どの場面・どの表現に着目すればよいか見当を付けさせる。

ポイント3 「見通し」

ルロイ修道士は、なぜ命をけずってまで、教え子を訪ね歩いたのでしょ。 (中3 「握手」)

前の時間は兵十に伝えたいごんの気持ちについて考えましたが、兵十にはごんのその気持ちが伝わったのでしょうか。 (小4 「ごんぎつね」)

みんなは伝わったと言いましたが、どこからそう考えられますか。その言葉や文に線を引きましょう。引いたら隣の人と確認し合ってみましょう。 (小4 「ごんぎつね」)

ポイント5 「まとめ・振り返り」

本時の学びを観点を明確にして振り返り、再生(表現)する活動を取り入れる。

今日はどのような表現から、登場人物○のどのような心情に迫ることができましたか。ノートに書きましょう。

今日学んだ登場人物の心情が伝わるように音読してみましょう。それを隣の人に聞いてもらって、感想を伝え合いましょう。

僕と同じ疑問だな…みんなはどう考えているのかな…

根拠・理由をはっきりさせて書くことが大事なんだな!